

【】 鎌倉時代

[年表]

年代	おもなできごと
1185年	源義経、壇ノ浦の戦いで平氏を滅亡させる
1185年	源頼朝、朝廷に、国ごとに守護、荘園ごとに地頭を置くことを認めさせた 封建制度：本領安堵などの御恩と御家人の奉公
1192年	源頼朝、朝廷より征夷大将軍に任じられる
1221年	頼朝の死後、実権は北条氏に移り、北条氏は執権として権力をにぎった 承久の乱、首謀者は後鳥羽上皇→乱後、朝廷監視のために六波羅探題を設置
1232年	御成敗式目(領地や裁判などについての武士のならわしをまとめた法律)
1274年	文永の役 弘安の役とあわせて元寇という。元の皇帝はフビライ・ハン
1281年	弘安の役 幕府の執権は北条時宗 →元軍を撃退したが、御家人に恩賞を与えることができなかった→不満
1297年	徳政令(御家人の救済が目的)
1333年	鎌倉幕府滅亡

年代	おもなできごと
1185年	源義経、()の戦いで平氏を滅亡させる
1185年	(), 朝廷に、国ごとに(), 荘園ごとに()を置くことを認めさせた 封建制度：本領安堵などの()と御家人の()
1192年	源頼朝、朝廷より()に任じられる 頼朝の死後、実権は北条氏に移り、北条氏は()として権力をにぎった
1221年	()の乱、首謀者は()上皇→乱後、朝廷監視のために()を設置
1232年	()(領地や裁判などについての武士のならわしをまとめた法律)
1274年	文永の役 弘安の役とあわせて()という。元の皇帝は()
1281年	弘安の役 幕府の執権は北条() →元軍を撃退したが、御家人に恩賞を与えることができなかった→不満
1297年	()令(御家人の救済が目的)
1333年	鎌倉幕府滅亡

(参考) 守護地頭の人々和合(1185)/いい国(1192)めざす頼朝さん/人に二色(1221)承久の乱/御成敗式目一文(1232)に/文永の役生きて帰る一人なし(1274)/皮肉な(1297)結果に徳政令/一味さんざん(1333)鎌倉滅ぶ

【】 鎌倉幕府の成立

[要点]

- (1) 1185年に壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、朝廷に、国ごとに守護、荘園ごとに地頭を置くことを認めさせた。1192年、源頼朝は、征夷大將軍に任じられた。源氏は三代で滅び、もっとも有力な御家人であった北条氏が執権という地位について政治の実権を握った。
- (2) 御家人は、將軍から領地を認められ、守護や地頭などに任じられた。これを御恩といい、そのかわりに御家人は京都・鎌倉の警備にあたり、いざ戦いというときには一族郎党を率いて働いた。これを奉公という。
- (3) 1221年、後鳥羽上皇は兵をあげたが、幕府の大軍に敗れ、隠岐に流された。これを承久の乱という。乱後、幕府は朝廷や西国の武士を監視するため、京都に六波羅探題を置いた。1232年、北条泰時は領地や裁判などについての武士のならわしをまとめて御成敗式目を定めた。

[要点確認]

- (1) 1185年に()の戦いで平氏を滅ぼし、朝廷に、国ごとに()、荘園ごとに()を置くことを認めさせた。1192年、()は、()に任じられた。源氏は三代で滅び、もっとも有力な御家人であった()氏が()という地位について政治の実権を握った。
- (2) 御家人は、將軍から領地を認められ、守護や地頭などに任じられた。これを()といい、そのかわりに御家人は京都・鎌倉の警備にあたり、いざ戦いというときには一族郎党を率いて働いた。これを()という。
- (3) 1221年、()上皇は兵をあげたが、幕府の大軍に敗れ、隠岐に流された。これを()の乱という。乱後、幕府は朝廷や西国の武士を監視するため、京都に()を置いた。1232年、北条泰時は領地や裁判などについての武士のならわしをまとめて()を定めた。

【鎌倉幕府の成立】

【問題1】

次の各問いに答えよ。

- (1) 壇ノ浦の戦いで、源氏の総大将として平氏をほろぼしたのは誰か。
- (2) 右の肖像画に描かれている人物はだれか。
- (3) 1185年、(2)の人物は朝廷にせまって(①)と(②)を置くことを認めさせた。(①)は国ごとにおかれ、御家人の統率や殺人などの重い犯罪の取り締まりにあたった。(②)は荘園ごとにおかれ、年貢の取り立てなどにあたった。
- (4) ①(2)の人物は朝廷からどんな位をさづけられたか。②また、それは何年のことか。



【解答欄】

(1)	(2)	(3)①	②
(4)①	②		

【問題2】

次の各問いに答えよ。

- (1) 1185年、()の戦いで平氏が源氏によってほろぼされた。
- (2) 平氏をほろぼした後、源頼朝は守護・地頭をおくことを朝廷に認めさせたが、それは何年のことか。
- (3) ①守護、②地頭は、それぞれどんなところに置かれたか。
- (4) 頼朝は、平氏の滅亡後、弟の(①)をかくまったことを口実に、(②)氏を攻め滅ぼした。こうして東北地方にも幕府の支配が及ぶようになった。(②)氏のかつての繁栄を今に伝える建造物として、(③)寺金色堂が残されている。(②)氏の本拠地となった町は(④)である。

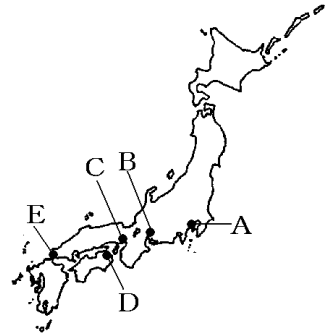
【解答欄】

(1)	(2)	(3)①	②
(4)①	②	③	④

[問題 3]

次の各問いに答えよ。

- (1) 壇ノ浦の合戦が行われた場所を地図中の A～E より選べ。
- (2) 鎌倉の位置を地図中の A～E より選べ。



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[問題4]

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉幕府を開いた人物は誰か。
- (2) 鎌倉幕府がおかれたのは現在の①何県の②何市か。
- (3) 鎌倉幕府が開かれて、1333年に滅亡するまでの時代を何時代というか。
- (4) 鎌倉幕府の組織で、御家人ごけにんの統率にあたったのは(①), 御家人からの訴えを裁いたのが(②), 一般政務や財政をつかさどったのが(③)である。
- (5) 頼朝の死後、幕府の実権は(①)氏に移り、以後(①)氏が(②)の地位を独占した。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	(3)
(4)①	②	③	(5)①
②			

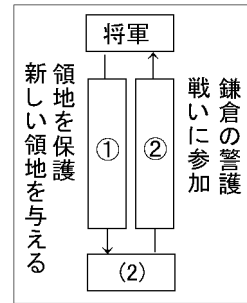
[御恩と奉公]

[問題 5]

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

鎌倉幕府の初代将軍の()は、彼と主従関係を結んだ武士を統率し、武士による政治のしくみを整えていった。

- (1) 文中の()にあてはまる人名を答えよ。
- (2) 下線部について、このような武士は何と呼ばれたか。
- (3) 右図について、①、②にあてはまる語句を答えよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
-----	-----	------	---

[問題6]

次の各問いに答えよ。

- (1) 将軍と主従関係を結んだ武士を何というか。
- (2) 源頼朝は、御恩と奉公ごおん ほうこうで結ばれた主従関係を基礎にして、武家政治を始めた。この御恩とは、どのようなことをいうか。
- (3) 奉公の内容を、「戦い」という語句を使って1つ説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[承久の乱・御成敗式目]

[問題7]

資料を読んで、次の各問いに答えよ。

(資料)

みなの方、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が 朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は…(中略)。名誉を大事にする者は、京都に向かって出陣し、逆臣を討ち取り幕府を守りなさい。

- (1) 資料の言葉は、①何という戦乱のときに、②だれが御家人に訴えたものか。
- (2) この乱の首謀者は誰か。
- (3) この乱の後、朝廷を監視するために京都におかれた役所は何か。
- (4) 1232年、領地や裁判などについての武士のならわしをまとめた法律が作られたが、何という法律か。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	(3)
(4)			

[問題8]

次の各問いに答えよ。

- (1) 承久の乱は何年か。
- (2) 承久の乱のときの執権^{しっけん}は誰か。
- (3) 承久の乱の後、後鳥羽上皇は現在の①何県の②どこに流されたか。
- (4) 承久の乱の後に設置された六波羅探題は、どこに置かれたか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)			

[問題9]

次の各問いに答えよ。

- (1) ^{ごせいばいしきもく}御成敗式目を定めたのは誰か。
- (2) ①御成敗式目が定められたのは何という乱のあとか。②また、何年に定められたか。
- (3) 御成敗式目を定めた理由は何か。

[解答欄]

(1)	(2)①	②
(3)		

[武士と民衆の生活]

[問題 10]

鎌倉時代の武士と民衆の生活について、次の各問いに答えよ。

- (1) 地頭と領主(領家)との間には、争いがたびたび起こった。この争いは幕府によって裁かれ、右の絵図のように土地の半分が地頭にあたえられたりした。これを何というか。
- (2) 武士は、つねに馬や弓矢の武芸によって心身をきたえて、武士らしい心がまえを持つように努力していた。これを「何の道」と呼ぶか。
- (3) 武士の家は、一族の長である(①)が中心となって子や兄弟などをまとめ、団結していた。領地は(②)相続で、女子にもあたえられたので、女性の地頭も多かった。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
-----	-----	------	---

[問題 11]

次の文の①, ②に適語を入れよ。

鎌倉時代には農業生産が高まり, 米の裏作に麦をつくる(①)も行われるようになった。また, 寺社の門前や交通の便利なところで(②)市が開かれ, 米や布などの日用品が売買された。

[解答欄]

①	②
---	---

【】 鎌倉文化

[要点]

- (1) 法然は、浄土信仰を発展させた浄土宗を開き、その弟子である親鸞は「悪人正機説」を唱えて浄土真宗を開いた。一遍は時宗を開き、各地をまわって踊念仏を広めた。法華経こそ仏教の根本であると説いた日蓮は日蓮宗を開いた。また、宋にわたった栄西と道元は、禅宗を伝え、栄西は臨済宗、道元は曹洞宗を開いた。
- (2) 合戦のようすなどを描いた軍記物としては平家物語があり、琵琶法師によって人々に伝えられた。随筆としては、吉田兼好の徒然草、鴨長明の方丈記がある。また、和歌集としては、新古今和歌集がある。代表的な建築物としては東大寺南大門がある。彫刻としては、蓮慶の金剛力士像があり、東大寺南大門に置かれている。

[要点確認]

- (1) ()は、浄土信仰を発展させた()宗を開き、その弟子である()は「悪人正機説」を唱えて()宗を開いた。()は時宗を開き、各地をまわって()念仏を広めた。法華経こそ仏教の根本であると説いた()は日蓮宗を開いた。また、宋にわたった栄西と道元は禅宗を伝え、()は臨済宗、()は曹洞宗を開いた。
- (2) 合戦のようすなどを描いた()物としては()があり、()法師によって人々に伝えられた。随筆としては、()の徒然草、()の方丈記がある。また、和歌集としては、()和歌集がある。代表的な建築物としては()がある。彫刻としては、蓮慶の()像があり、東大寺南大門に置かれている。

【鎌倉仏教】

【問題12】

次の各問いに答えよ。

- (1) ①浄土信仰じょうどしんこうを発展させ、「阿弥陀仏あみだぶつの救いを信じて念仏せよ」と説いたのは誰か。
②また、何という宗派を開いたか。
- (2) ①「阿弥陀仏の救いを信じる心さえあればよく、自分の罪を自覚した悪人こそ救われる」と説いたのは誰か。②また、何という宗派を開いたか。
- (3) ①各地をまわって踊念仏おどりねんぶつを広めたのは誰か。②また、何という宗派を開いたか。
- (4) ①法華経ほけきょうこそ仏教の根本であるとしたのは誰か。②また、何という宗派を開いたか。
- (5) 座禅ざぜんにより自力でさとりを開くことを重視した曹洞宗そうとうしゅうと臨済宗りんざいしゅうをあわせて何宗と
いうか。
- (6) (5)のうち、臨済宗の開祖は(①)で、曹洞宗の開祖は(②)である。

【解答欄】

(1)①	②	(2)①	②
(3)①	②	(4)①	②
(5)	(6)①	②	

【問題13】

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉時代の新しい仏教宗派のうち念仏(なむあみだぶつ)の3つの宗派をあげよ。
- (2) 法然ほうねんの弟子の()は、「南無阿弥陀仏」を唱えれば、煩惱ぼんのう深き悪人こそが救われるという悪人正機説しよきせきを説いた。
- (3) 右の絵は1299年に描かれたものである。この絵にはある僧が描かれている。その僧の名前を、次の[]から1つ選べ。
[一遍 親鸞 空海 鑑真]
- (4) 日蓮にちれんは「南無妙法蓮華経」の()を唱えれば、救われると説き、他宗をきびしく批判した。
- (5) 道元どうげんや栄西えいさいが禅宗ぜんしゆを学んだのは何という国か。
- (6) 禅宗では、()を組むことによって自分の力でさとりを開くことを重視した。
- (7) 禅宗の2つの宗派をあげよ。
- (8) 鎌倉時代に新しい仏教がおこってきたが、それらの教えが急速に広まっていった理由を簡単に説明せよ。



【解答欄】

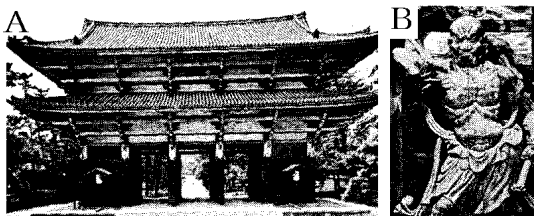
(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(8)		

[鎌倉時代の文化]

[問題14]

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉時代の文化の特色を「貴族」「武士や民衆」「力強い」の語句を使って説明せよ。
- (2) 琵琶法師びわほうしによって広められた漢語や口語をまじえた文章で武士の活躍をえがいた物語を何というか。
- (3) 鎌倉時代の代表的な建築物 A は何か。
- (4) (3)の建築物に置かれている彫刻Bは何か。



[解答欄]

(1)			
(2)	(3)	(4)	

[問題15]

次の各問いに答えよ。

- (1) 平氏の繁栄と滅亡を情感豊かにえがいた軍記物は何か。
- (2) (1)は、字の読めない武士や農民にも広められたが、誰によって広められたか。
- (3) 徒然草つれづれぐさの作者は誰か。
- (4) 方丈記ほうじょうきの作者は誰か。
- (5) ①鎌倉時代の代表的な和歌集は何か。②また、その編者は誰か。
- (6) 金剛力士像の作者は誰か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)①	②	(6)	

【】 元寇

[要点]

- (1) モンゴル帝国を築いたチンギス・ハンの孫にあたるフビライ・ハンは、国号を元と改めた。朝鮮の高麗を屈服させ、日本も従えようとして1274年に博多湾に攻め込んだ。さらに、中国の宋(南宋)を滅ぼし、1281年に再度来襲した。これを元寇という。元の集団戦法に苦戦しながらも、暴風雨の助けもあってこれを撃退した。
- (2) 御家人は元寇のときに多くの費用を使ったのに、恩賞をもらえず、生活がいつそう苦しくなり、幕府に対して不満を持つようになった。そこで、幕府は1297年、徳政令を出して御家人が手ばなした土地をただでもとの持ち主に返させた。しかし、効果は一時的なもので、かえって幕府の信用を失わせた。

[要点確認]

- (1) モンゴル帝国を築いた()の孫にあたる()は、国号を()と改めた。朝鮮の()を屈服させ、日本も従えようとして1274年に博多湾に攻め込んだ。さらに、中国の()を滅ぼし、1281年に再度来襲した。これを()という。元の()に苦戦しながらも、暴風雨の助けもあってこれを撃退した。
- (2) 御家人は元寇のときに多くの費用を使ったのに、恩賞をもらえず、生活がいつそう苦しくなり、幕府に対して不満を持つようになった。そこで、幕府は1297年、()令を出して御家人が手ばなした土地をただでもとの持ち主に返させた。しかし、効果は一時的なもので、かえって幕府の信用を失わせた。

【問題16】

次の各問いに答えよ。

- (1) 13世紀のはじめ、モンゴル高原で遊牧生活をしていたモンゴルの部族を統一して国を建設したのは誰か。
- (2) (1)の孫にあたる人物で、国号を元と改めたのは誰か。
- (3) 元によって滅ぼされた中国の王朝は何か。
- (4) ①元の首都は何という都市であったか。②また、それは現在は何という都市か。
- (5) ①元に旅行し、旅行記の中でわが国を「ジパング」とよび、黄金の島と紹介し、ヨーロッパの人々のアジアへの関心を高めた人物はだれか。②また、その著作は何か。
- (6) 元の時代に中国からヨーロッパに伝えられたものを2つあげよ。
- (7) 元の侵入を受けると都を江華島に移し、30年以上も抵抗を続けた朝鮮の王朝は何か。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
(4)①	②	(5)①
②	(6)	(7)

【問題17】

右図は、中国のある王朝の軍が1274年、1281年に日本に来襲したときの様子を表している。



- (1) この2回のできごとをまとめて何というか。
- (2) ①このときの中国の王朝は何か。②また、そのときの皇帝は誰か。
- (3) このときの幕府の執権は誰か。
- (4) 元軍が日本軍を苦しめた理由について、図を参考に、簡潔に説明せよ。
- (5) このできごとの後、鎌倉幕府と御家人の関係はどうなっていくか。次のことばをすべて使って説明せよ。

〔 恩賞 不満 領地 〕

- (6) 生活が苦しくなった御家人を救おうとして幕府が定めた法令を何というか。

【解答欄】

(1)	(2)①	②	(3)
(4)			
(5)			
(6)			

【問題18】

次の各問いに答えよ。

- (1) 元の第1回目の来襲を(①)といい、第2回目の来襲を(②)という。また、この2回の来襲を合わせて(③)という。
- (2) (1)①の後で、鎌倉幕府が九州の御家人に命じて博多湾^{はかたわん}の沿岸に築かせたものは何か。
- (3) 文永の役と弘安の役の時では、どちらの時が日本にやってきた兵の数が多いか。
- (4) 文永の役の時、元軍が最初にやってきた九州の町はどこか。
- (5) 永仁^{えいにん}の徳政令^{とくせいれい}が出されたのは何年か。
- (6) 永仁の徳政令の内容を説明せよ。

【解答欄】

(1)①	②	③	(2)
(3)	(4)	(5)	
(6)			

【】 室町時代

[年表]

年代	おもなできごと
1333年	鎌倉幕府の滅亡
1334年	後醍醐天皇による建武の新政が始まる 足利尊氏がそむく→後醍醐天皇は吉野に逃れる(南朝)
1338年	足利尊氏は征夷大将軍になり、室町幕府を開く 南北朝時代の争乱：この時期に守護は守護大名に成長
1392年	足利義満が南北朝を合一
1404年	勘合貿易(勘合を使用。中国の明から倭寇の取り締まりを求められた)
1428年	正長の土一揆(近江の馬借や京都の農民が徳政令を要求)
1467年	応仁の乱(11年間も京都での争いが続いた→戦国時代の幕開け)
1485年	山城国一揆(守護大名の畠山氏を追い出して8年間自治を行った)
1488年	加賀の一向一揆(一向宗の信徒が守護を攻め滅ぼし約100年間自治を行う)

年代	おもなできごと
1333年	鎌倉幕府の滅亡
1334年	()天皇による()の新政が始まる 足利尊氏がそむく→()天皇は吉野に逃れる(南朝)
1338年	()は征夷大将軍になり、()幕府を開く 南北朝時代の争乱：この時期に守護は()に成長
1392年	足利()が南北朝を合一
1404年	()貿易(()を使用。中国の()から()の取り締まりを求められた)
1428年	()の土一揆(近江の馬借や京都の農民が徳政令を要求)
1467年	()の乱(11年間も京都での争いが続いた→戦国時代の幕開け)
1485年	()一揆(守護大名の畠山氏を追い出して8年間自治を行った)
1488年	()一揆(一向宗の信徒が守護を攻め滅ぼし約100年間自治を行う)

(参考) 一味さんざん(1333)鎌倉滅ぶ／いざ見よ(1334)建武の新政を／將軍尊氏勇み肌(1338)／いざ国(1392)を統合南北朝／勘合貿易人寄れよ(1404)／人よにやつく(1428)土一揆／応仁の乱人よむな(1467)しく死んでいく／人よパッパ(1488)と一向一揆

【】 建武の新政と室町幕府の成立

[要点]

- (1) 後醍醐天皇は足利尊氏などの協力を得て、1333年に鎌倉幕府を滅ぼし、天皇中心の政治を始めた。これを建武の新政という。しかし、足利尊氏が反旗を翻して、後醍醐天皇は吉野に逃れた。足利尊氏は京都に新しい天皇(北朝)をたて、1338年に室町幕府を開いた。南北朝の争乱の時代に、守護は次第にその国を支配下において守護大名に成長した。
- (2) 14世紀の中ごろ、足利義満が第3代将軍となり、1392年に南北朝の合一をはかった。このころ、元にかわって明が中国を支配するようになった。足利義満は中国の求めに応じて、当時中国の沿岸部を荒し回っていた倭寇と呼ばれる海賊を取り締まることを約束し、その見返りとして勘合貿易(日明貿易)を認められた。海賊と区別するために勘合という合い札が使われた。

[要点確認]

- (1) ()天皇は足利尊氏などの協力を得て、()年に鎌倉幕府を滅ぼし、天皇中心の政治を始めた。これを()の新政という。しかし、()が反旗を翻して、()天皇は吉野に逃れた。()は京都に新しい天皇(北朝)をたて、1338年に()幕府を開いた。()の争乱の時代に、守護は次第にその国を支配下において()に成長した。
- (2) 14世紀の中ごろ、()が三代将軍となり、1392年に()の合一をはかった。このころ、元にかわって()が中国を支配するようになった。足利()は中国の求めに応じて、当時中国の沿岸部を荒し回っていた()と呼ばれる海賊を取り締まることを約束し、その見返りとして()貿易を認められた。海賊と区別するために()という合い札が使われた。

[建武の新政]

[問題19]

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉幕府を倒すためにくすのきまさしげ楠木正成など幕府に不満を持つ武士に呼びかけて兵をあげた天皇は誰か。
- (2) 幕府の有力な御家人で、幕府の命令にそむいて京都のろくはらたんだい六波羅探題を攻め落としたのは誰か。
- (3) 鎌倉幕府の滅亡は何年か。
- (4) (2)らの力によって鎌倉幕府は滅び、天皇親政の政治改革が行われたが、これを何と
いうか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[問題20]

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉幕府への反感が強まるのを見て、後醍醐天皇は朝廷に実権を取りもどそうと考えた。()などの新興武士や有力御家人の足利尊氏らが加わり、1333年ついに幕府を滅ぼした。
- (2) 建武の新政は、なぜ2年で失敗したのかを説明せよ。
- (3) 建武の新政に対抗して兵を挙げた中心人物は誰か。
- (4) ①(3)の人物にそむかれたごだいご後醍醐天皇はどこに逃げたか。②また、それは現在の何県か。
- (5) (3)の人物は、京都に新しい天皇をたてたが、この朝廷を何と
いうか。
- (6) 建武の新政が失敗に終わった後、約60年間戦乱が続いた。この戦乱の時代を何と
いうか。

[解答欄]

(1)			
(2)			
(3)	(4)①	②	(5)
(6)			

[室町幕府の成立・南北朝の動乱]

[問題21]

次の各問いに答えよ。

- (1) 征夷大將軍に任命されて、1338年に室町幕府を開いたのは誰か。
- (2) 室町幕府で、鎌倉幕府の執権にあたるものは何か。
- (3) 南北朝の争乱の中で、守護は次第に一国を支配する領主に成長していった。このような守護を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[問題22]

次の各問いに答えよ。

- (1) 足利尊氏によって開かれた幕府は何というか。
- (2) (1)が成立したのは何年か。
- (3) 管領の地位には、有力な()が交代でついた。
- (4) 関東8か国のほか2か国を治める役所として置かれたものは何か。
- (5) 南北朝の争乱は約何年間続いたか。次から選べ。

[40年 60年 80年 100年]

[解答欄]

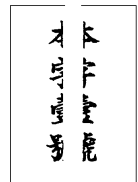
(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[足利義満と日明貿易]

[問題23]

次の各問いに答えよ。

- (1) 14世紀末に南北朝なんぼくちようは再び合一したが、そのときの将軍は誰か。
- (2) 北九州や瀬戸内の武士などの中には、朝鮮半島や中国へ行き、貿易をおこなうだけでなく、ときには海賊となり、米などをうばい取っていた人々がいた。この人々を何というか。
- (3) 正式の貿易船に右図のような合い札の証明書を持たせた貿易は何とよばれたか。
- (4) 右図のような合い札を何というか。
- (5) (4)の合い札が用いられたのはなぜか、説明せよ。
- (6) (3)の貿易を始めた将軍は誰か。
- (7) (3)の貿易の相手国となった中国の王朝は何か。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			
(6)	(7)		

[問題24]

次の各問いに答えよ。

- (1) 3代将軍足利義満が建てた京都室町の御所は、何と呼ばれたか。
- (2) 南北朝なんぼくちようの合一は何年か。
- (3) 勘合貿易かんごうの開始は何年か。
- (4) 勘合貿易の主な輸入品は何か。1つあげよ。
- (5) 勘合貿易で日本が中国に輸出したものを次から1つ選べ。

[銅銭 絹織物 銅 香辛料]

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[朝鮮・琉球王国・アイヌ民族]

[問題25]

次の各問いに答えよ。

- (1) 朝鮮半島では、1392年(①)が(②)をほろぼして(③)を建国した。(③)では(④)という文字が作られた。(③)も、日本に倭寇の取り締まりを求め、さらに貿易を求めてきたため、足利義満は(⑤)貿易を始めた。
- (2) 沖縄では、15世紀はじめに高氏が(①)を建て、(②)を首都とし、明・日本・朝鮮・東南アジア各地に進出して(③)貿易を行った。
- (3) 室町時代のころ、現在の北海道で生活していた民族を何というか。

[解答欄]

(1)①	②	③	④
⑤	(2)①	②	③
(3)			

【】 民衆の成長・応仁の乱と戦国大名

[要点]

- (1) 農村では惣そうという自治組織が発達した。商工業者は座ざという同業者の組合を作った。土倉とくらと呼ばれた質屋や酒屋が金貸し業を営んだ。運送業も発達し、港町には、倉庫をかまえた問もんが、陸上では馬借ばしやくと呼ばれる運送業者が活躍した。1428年近江の馬借や京都の農民が京都に入り、幕府に徳政令とくせいれいを出すことを要求して寺院や土倉をおそった。この事件を正長しょうちやうの土一揆つちいっかいという。
- (2) 1467年に起こった応仁おうにんの乱は11年間続き約100年間続く戦国時代の幕開けとなった。1485年に山城国一揆やましよのくにいっかいがおこった。1488年には加賀かがの一向一揆いっこういっかいがおこり、守護を攻め滅ぼして約100年間自治を続けた。守護大名の多くが下剋上げこくじやうによって家臣にたおされ戦国大名がうまれた。戦国大名は領国統治のために分国法ぶんこくほうという法律を制定した。

[要点確認]

- (1) 農村では()という自治組織が発達した。商工業者は()という同業者の組合を作った。()と呼ばれた質屋や酒屋が金貸し業を営んだ。運送業も発達し、港町には、倉庫をかまえた()が、陸上では()と呼ばれる運送業者が活躍した。1428年近江おうみの馬借や京都の農民が京都に入り、幕府に()令を出すことを要求して寺院や土倉をおそった。この事件を()の土一揆という。
- (2) 1467年に起こった()の乱は11年間続き約100年間続く()時代の幕開けとなった。1485年に()一揆がおこった。1488年には()一揆がおこり、守護を攻め滅ぼして約100年間自治を続けた。守護大名の多くが()によって家臣にたおされ()大名がうまれた。戦国大名は領国統治のために()法という法律を制定した。

[産業の発達・村の自治]

[問題26]

次の各問いに答えよ。

- (1) 室町時代の農村の自治組織を何というか。
- (2) 金融業を営んだ質屋は何と呼ばれたか。
- (3) 商工業者は同業者ごとに何という組合を作ったか。
- (4) 陸上の運送業者を1つあげよ。
- (5) 室町時代、商業が活発になると()市が交通の要地や寺社の門前で月に6回開かれた。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[問題27]

次の各問いに答えよ。

- (1) 室町時代、村ごとにつくられた自治的な組織を何というか。
- (2) 麦などを裏作とする(①)が広まり、耕作のときに(②)や馬を使い、かんがい(③)を使用することも多くなった。
- (3) 桑、漆、茶などの(①)作物が栽培されるようになり、16世紀には(②)の栽培が始まった。
- (4) 酒屋や土倉などはどのような仕事をしていたか。
- (5) 取引に使われたお金にはどのようなものがあったか。2つあげよ。
- (6) 寺社の門前の市が発達して()町ができた。
- (7) 港町に倉庫をかまえ、年貢などの輸送・保管を行った運送業者を何というか。
- (8) 朝廷、寺社などが通行料を取るために各地に設けたものは何か。
- (9) 日明貿易で栄えた近畿地方の港町で商人を中心とした自治が行われた都市はどこか。
- (10) 戦国時代、(9)などでは自治が行われたが、その中心となった有力商人を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	③
(3)①	②	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)
(10)			

[土一揆・応仁の乱など]

[問題28]

次の各問いに答えよ。

- (1) 近江の馬借や京都の農民が 1428 年におこした土一揆は何か。
- (2) (1)を起こした農民などが幕府に対して要求したことは何か。
- (3) 15 世紀後半、細川氏と山名氏の権力争いに将軍や管領家の相続争いが結びついて、11 年間も京都での争いが続いた。この争いを何というか。
- (4) (3)の乱後、戦乱は全国に広がり約 100 年も続いた。この戦乱の時代を何というか。
- (5) 1485 年、京都南部の村々は、地侍を中心としてまとまりを強めて守護大名の畠山氏を追い出して 8 年間自治を行った。この事件を何というか。
- (6) 15 世紀後半、加賀の一向宗の信徒が守護を攻め滅ぼし、約 100 年間自治を続け、「百姓の持ちたる国」とよばれた。この事件を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

[問題29]

次の各問いに答えよ。

- (1) 惣を中心に団結を固めた農民が、年貢の軽減などを要求しておこした一揆が発生した。これを何というか。
- (2) 近江の馬借や京都の農民が中心となった正長の(1)は何年か。
- (3) 応仁の乱が始まったのは何年か。
- (4) 第 6 代将軍義教の死後、幕府では()大名間の勢力争いがおこり、細川氏と山名氏が将軍のあとつぎ問題をめぐって対立し、応仁の乱が起こった。
- (5) 応仁の乱の時期の室町幕府の将軍を答えよ。
- (6) 山城の国一揆が起こった山城の国は、現在の都道府県名ではどこにあたるか。
- (7) 加賀の一向一揆は何年におこったか。
- (8) 加賀で起きた一揆に関係の深い宗派は何か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)

[下剋上・戦国大名]

[問題30]

次の各問いに答えよ。

- (1) 大名の家来が実力をのぼして大名の地位を奪^{うば}うようになったが、下の身分の者が上の者を倒すことを何というか。
- (2) 実力で領国^{りょうごく}を支配するようになった大名を何というか。
- (3) (2)が領国統治のために制定した法令を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[問題31]

次の各問いに答えよ。

- (1) 下剋上^{げこくじょう}とはどのようなことか。簡単に書け。
- (2) 戦国大名は、城下に家来を集め、商工業者をよびあつめて()町をつくった。
- (3) 戦国大名の保護のもとで博多の商人によって開発された現在の島根県にある銀山は何か。

[解答欄]

(1)		
(2)	(3)	

【】 室町時代の文化

[要点]

- (1) 室町時代の文化の特色は、公家と武家の文化がとけあったことと、中国から伝わった禪宗の影響を受けていることである。足利義満は京都の北山に金閣を建て、足利義政は応仁の乱後、東山に銀閣を建てた。義政の時代の文化を東山文化という。銀閣は書院造という建築様式に特色がある。
- (2) 雪舟は水墨画を、また、観阿弥・世阿弥は能を大成した。能のあいまに演じられたものに狂言がある。民衆の間でも「浦島太郎」のような御伽草子と呼ばれる絵本などが作られた。和歌から生まれた連歌は、公家の間でも村の寄り合いでも盛んに行われた。

[要点確認]

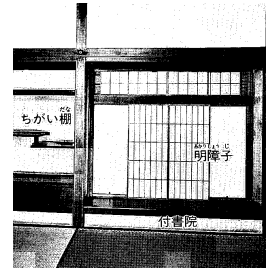
- (1) 室町時代の文化の特色は、公家と武家の文化がとけあったことと、中国から伝わった()宗の影響を受けていることである。足利義満は京都の北山に()を建て、足利義政は応仁の乱後、東山に()を建てた。義政の時代の文化を()文化という。銀閣は()造りという建築様式に特色がある。
- (2) 雪舟は()画を、また、観阿弥・世阿弥は()を大成した。能のあいまに演じられたものに()がある。民衆の間でも「浦島太郎」のような()と呼ばれる絵本などが作られた。和歌から生まれた()は、公家の間でも村の寄り合いでも盛んに行われた。

[北山文化と東山文化]

[問題32]

次の各問いに答えよ。

- (1) 第3代将軍の足利義満が建てた別荘で、^{きんぱく}金箔を用いた^{ごうかりんらん}豪華絢爛な^{しんてん}寝殿造りになっている建築物は何か。
- (2) ①右の写真の建物の名を書け。②また、この建物が建てられたころ栄えた文化を何と呼ぶか。
- (3) この建築物は、右の図のような造りになっており、今日の住居のもとになっているといわれている。何という造りか。



[解答欄]

(1)	(2)①	②	(3)
-----	------	---	-----

[問題33]

次の各問いに答えよ。

- (1) 金閣をつくった将軍は誰か。
- (2) (1)の人物の時代の文化を何文化というか。
- (3) ^{おうにん}応仁の乱をよそに、京都の^{ひがしやま}東山に銀閣を建てた将軍は誰か。
- (4) 室町時代の文化の特色を、「武家」「公家」「^{ぜんしゅう}禅宗」の3つの語句を使って書け。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[能・水墨画など]

【問題34】

次の各問いに答えよ。

- (1) 田植えなどの際の芸能は、ある芸能に大成された。この芸能を何というか。
- (2) 「浦島太郎」や「物臭太郎」などの話をもとにした絵本を何というか。
- (3) ①和紙に墨一色の濃淡で描く画を何というか。②また、それを大成した人物は誰か。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)①	②
-----	-----	------	---

【問題35】

次の各問いに答えよ。

- (1) 能を大成したのは誰か。2人あげよ。
- (2) 能のあいまに演じられた喜劇は何か。
- (3) 和歌の上の句と下の句をつないでいく文学は何か。
- (4) 地方武士や都市有力者は、子どもに()で教育を受けさせた。
- (5) 上杉氏は()学校を保護した。
- (6) 農民より一段低い身分とみられていた人々の間からも優れた芸能や技術で文化を向上させる者も出た。莊園などに住み公家や寺社に奉仕した散所や、河川近くに住み芸能や庭園工事に従事した()などがある。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

[印刷／他のPDFファイルについて]

※ このファイルは、FdText 社会(9,600 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdText 社会は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※ FdText(英語・数学・社会・理科・国語)全分野のPDFファイル、および製品版の購入方法は<http://www.fdtype.com/txt/> に掲載しております。

※ 弊社は、FdText のほかに FdData 中間期末過去問(数学・理科・社会)(各 18,900 円)を販売しております。PDF 形式のサンプル(全内容)は、<http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

※ [FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末の全 PDF ファイルを自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【Fd教材開発】(092) 404-2266
<http://www.fdtype.com/dat/>